

令和3年6月14日(月)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
比嘉 麻乃	1.平和教育について	今年で戦後76年を迎えます。戦争体験者は減少し、戦後生まれの人口が全体の8割を超えております。戦争が記憶から歴史へと変わりつつある中、戦争の悲惨さを次世代に伝えていかなければなりません。そこで伺います。 ①慰霊の日を前に本村4小中学校での平和学習の内容を伺います。 ②沖縄戦を語るうえで欠かすことのできない場所がひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館です。当資料館はひめゆり学徒隊の戦争体験を伝えるために学徒隊の生存者によって1989年に開館しました。その資料館がコロナ禍の影響を受け入館者が86%減少しております。これまで村民を含め、多くの方々が戦争の悲惨さや平和の尊さ、命の大切さを学んできたひめゆり平和祈念資料館を失ってはなりません。そこで要望します。 本村の児童生徒がコロナ禍の中でも平和について親子で考える機会を増やし、尚且つ少しでも資料館の支援に繋がるよう、児童生徒全員にひめゆり平和祈念資料館の親子ペア入館券を配布する考えはあるか伺います。	教育長
	2.子育て支援について	コロナ禍に見舞われた2020年の全国の出生数は87万2,683人で前年比の2万5,917人減り過去最少を記録し、2021年はさらに減少すると懸念されております。一方、沖縄県の出生数は1万5,508人で前年比の25人増となりましたが、今後のコロナ禍による少子化を防ぐためには若い世代が安心して出産や子育てのできる環境が必要だと考えます。 以下の事を伺います。 ①本村の直近3年間の出生数を伺います。 ②本村主導の母親(両親)学級を開催する考えはあるか伺います。 ③赤ちゃんを授かったお祝いとして妊産婦が安心かつ快適に過ごせるように歯科検診や骨盤ケアが無料で受けられるチケットを配布する考えはあるか伺います。	村長
	3.住民サービスについて	令和2年3月定例会の一般質問で平日に仕事などで、来庁する事が困難な村民のために全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機から住民表の写しや各種証明書が取得できるサービス実施の考えはあるか。という質問に対し、課長から「コンビニ交付は住民サービスの一環として必要である」との答弁がありましたが、その後の調査や進捗、計画について伺います。	村長
安里ヨシ子	1.補聴器購入助成について	平均寿命の大幅な伸びや、少子化などの背景として今や人口の4人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢化社会が到来しました。高齢者は、年をおうごとに体にさまざまな変化が起こります。その1つとして加齢性難聴があります。今や70歳を超えると約半数の人が難聴になるといわれています。 データによりますと、高齢者は70代男性で23.7%、女性で10.6%、80代男性で36.5%、女性は28.8%の人が難聴者となっているといわれています。原因は、動脈硬化による血流障害とされていますが、さらにストレス、睡眠不足、騒音、運動不足などがあげられています。難聴になると、家族や友人との会話が少なくなり会合の出席や外出の機会が減りコミュニケーション障害が起きるとされています。そのため聴覚障害者への補聴器購入補助の支援は必要だと思います。 そこで伺います。 補聴器は、生活必需品であり高齢者の社会参加を促すのですが、補聴器を買うにも高額でなかなか買えない状況です。それで、「加齢性難聴に対する村独自の補聴器購入補助制度」の創設は考えられませんか。	村長

令和3年6月14日(月)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
玉那覇登	1.ワクチン接種について	① 65歳以上のワクチン接種は、他の自治体よりスムーズに行われているといい評価を受けています。7月19日が終了予定ですが、現在までの接種状況や課題などを伺う。 ② 今後行われる64歳以下(一般接種)の接種対象者数は何名か？予定について伺う。	村長
	2.新学習指導要領の実施について	① 小学校では2020年度、中学校では2021年度から実施される新学習指導要領では、小学校で「プログラミング教育」が必修化されました。昨年度の小学校の授業実践を伺う。	教育長
	3.GIGAスクール構想について	① 令和2年度で一人一台のICT教育機器が整備され、本年度は5月中で調整を済ませ、その後授業の展開がなされていると思うが現状を伺う。	教育長
	4.ヤングケアラーについて	① 近年耳にする言葉「ヤングケアラー」がある。法律上の定義はないが、病気や障がいのある家族などを介護する18歳未満の子どもを「ヤングケアラー」と呼ぶ。日本では認知度が低く、実態が把握されていない。厚生労働省が初めて、全国の教育現場を対象にした実態調査が行われたが本村の現状はどうか伺う。	村長
	5.行政サービスについて	① 今後のオンライン化を見据えて押印廃止は入り口だと思います。村が各種手続きで使用する書類のうち押印を求める様式が何件あり、そのうちの何%、何件が廃止できるか伺う。 ② 本年5月税金などの支払いにスマホ決済サービスが始まりました。村民の利便性と市民サービスの向上を図るため良いことだと思います。今後増やす項目はあるか伺う。	村長
金城章	1.道路計画について	①中城村・北中城村、両村にて県道29号の登又近辺より以北の路線変更を計画し沖縄県へ要請・要望すべきと思うが村長の考えはどうか。 ②宜野湾横断道路の進捗状況はどうか。 ③潮垣線の拡幅計画の考えはあるか。 ④庁舎周辺の道路拡幅計画はあるか。	村長
	2.中城城跡周辺整備について	①城跡の修復工事計画の進捗はどうか。 ②廃ホテル跡地の利用計画はあるか。その場所へ県立郷土劇場の誘致を考え沖縄県へ要請・要望すべきと思うが村長の考えを伺う。	村長
	3.公共施設整備について	①公共施設は周辺景観環境を考えての緑化計画も施設計画での緑豊かな計画をすべきと考えるがどうか。 ②各学校のグラウンドの全面芝化すべきと考えるが計画はどうか。 ③認定子ども園の緑化植樹計画はどう計画しているか。 ④庁舎の芝管理、除草にかかった費用はいくらか。 (3月・5月の費用額はいくらか。)どの予算を使用しているか。 ⑤職員の駐車料金を施設管理費として使用の考えはどうか。 ⑥中城道の駅を計画すべきと考えるが計画の考えはあるか。 ⑦南上原配水池の外壁に絵図の計画はあるか。又、電光掲示板の設置の考えはあるか。 ⑧旧庁舎の敷地の利用計画はあるか。	村長 教育長

令和3年6月15日(火)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
大城常良	1.大城立裕氏の銅像建立を	中城村生まれで沖縄初の芥川賞受賞者である大城立裕氏は惜しまれつつ2020年10月27日、95歳の天寿を全うしお亡くなりになりました。沖縄文学のけん引者として本村及び、沖縄県に残された多大な功績を後世に継承して村民の励みになるように出身地である中城村に銅像を建立する考えはないか。伺います。	村長
	2.米軍基地問題について	施政方針の中で玉城県知事と協調し、普天間飛行場の閉鎖、辺野古新基地建設の反対を訴え続け、安心できる生活環境を追及するとあります。そこで ①旧庁舎にかかげられている「政府は日米地位協定を抜本的に見直せ」2010年1月の看板を公共施設に掲げること はできないか。 ②本村上空も普天間飛行場の訓練飛行ルート(タンゴポイント・キロポイント)が設定されているが、村民から米軍基地関係の苦情等はないか。	村長
	3.新型コロナウイルスワクチン接種について	①ワクチン接種の進捗状況を伺います。 ②自治会長の訪問希望調査で村外病院希望者(300人)は村外病院でのワクチン接種ができないと聞か、事前に説明は行われたか。 ③キャンセル対応接種者の優先順位は予定通りか。 ④村長はワクチン接種済みの報道があったが接種の経緯を伺います。 ⑤村内無料PCR検査、2400人の根拠及び、予算額を伺います。	村長
	4.福祉施策について	①ひきこもり実態調査アンケートの進捗状況はどうか。 ②8050問題の要援護者リストの取り組みはどうか。	村長
石原昌雄	1.南上原土地区画整理事業の進捗は	土地区画整理事業も最終段階になってきました。そこで、今後について伺います。 ①事業計画延長や変更はあるか。 ②町界町名変更はいつ頃やるか。その場合自治会からの意見は聞か。 ③街区公園7か所の今後の維持管理はどのようにするか。 ④区画整理事業終了後に記念碑の設置はするか。	村長
	2.障がい者福祉支援策と障がい者雇用は	コロナ禍の中、障がい者等の福祉支援の確保を忘れてはなりません。 ①村内の障がい者福祉団体への支援はどのようになっているか。団体名や会員数の把握、補助金支援、活動支援。 ②団体の行事へ行政はどのように関わっているか。 ③活動拠点はどのようになっているか。 ④社協に関わる福祉活動団体の支援はどうか。 ⑤役場職員の障がい者法定雇用率は充たしているか。雇用計画はあるか。	村長
	3.3シルバー人材センターの支援と活用	中城村のシルバー人材センターは、平成24年に設立され、その目的達成のため頑張っているが、行政の支援が必要な団体であり、今後について伺います。 ①シルバー人材センターの主な業務内容は把握していますか。どのようなものか。 ②これまでの、主な実績はどのようになっているか。 ③年次ごとの役場からの受注を具体的に示してください。 ④今後、役場業務の一部を発注できるよう全庁で取り組みができるか。 ⑤シルバー人材センターの意義と役割をとらえ、これからどのように支援し活用するか。	村長

令和3年6月15日(火)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
伊佐則勝	1.新型コロナウイルス予防対策事業の件	県内においては、過去最多の感染者数を更新する等感染拡大が続き、緊急非常事態宣言が発令されている状況です。 ①現在、高齢者(等)のワクチン接種を実施中ですが、当初計画通り個別接種・集団接種とも順調に進行しているか。 ②一般接種の対象人数は。接種受付方法については、60～64歳までは高齢者同様役場割振、60歳未満については電話・メールでの個人受付の予定か。 ③対象年齢が12～15歳まで接種拡大されるようだが対応は。 ④村民が受けられる無料PCR検査の現時点での実績は。 ⑤学校PCR検査の迅速化について県からの詳細通知は。	村長 教育長
	2.村道城跡線について	①県営公園入り口過ぎから上部坂道にかけて、歩道側にススキなど雑草が生い茂り一部歩行困難な場所も見受けられたが定期的に除草作業はなされているか。 ②上記歩道に経年劣化状態のアスファルト歩道の隆起とひび割れが延々と延びており、維持管理で応急補修の対応はされているようだが、構造的欠陥はないか。 ③旧ホテルも解体撤去され、県サイドの城跡線への接道事業実施の情報はなにか。	村長
	3.奥間地内の道路用地取得の件	既存道路は、地権者は個人2名・法人1社で距離で約70m程の自己開発道路で当時は主にキビ運搬道路として利用され、現在もキビ運搬他農家や生活道路になっています。 ①地権者2名の家族が分家住宅の計画があり、法人所有部分の土地(40m×2.5m＝約100㎡)無償譲渡の協力要請をお願いしたがその結果を伺う。	村長

令和3年6月15日(火)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
新垣修	1.村民住宅用地取得問題	①中部広域移行関連に関する最近の進捗状況及び業務の取り掛かり状況は ②那覇広域都市計画区域区分検討協議会にて市街化調整区域において規制を緩和し土地利用の区域区分を段階的に拡大し検討すると言う協議の最新状況は ③中部広域移行への表明より2年余り経過し、行政懇談会の中でも協議にあがり一年と5か月ほど経過しました。その間に村民から住宅建築に伴う土地利用等の相談が多々合ったのではないかと思います。令和2年度内においてなん件ほどあったのか伺います。 ④現在の土地利用に関して(住宅取得可能用地)、緩和地区や農振農地利用除外地区のマップ等村民が一目で分かるような資料が在るかどうか伺います。 ⑤現所有の土地に住宅建築を行いたいと言う相談が(北上原、屋宜、泊地区の村民から)ありました。他の地区でも同様な相談があると聞いております。懇談会移行住宅建築相談が増えているように思われます。 住宅土地習得に関して、現状の那覇広域化の中での用地利用に関して、区域区分制度がない中部広域に移行しての用地利用に関して、相応対比できるような(農振法・農地法)ガイドブックなど分かり易い手引きを作成し、各字の公民館に置けないかどうか伺います。	村長
	2.「生活を守る給付金」一人でも多く行き届くように	厚生労働省からひとり親世帯の支援のため、新たな給付金の支給が実地されました。給付には申請不要の支給対象者世帯と、要申請支給対象者世帯があります。要申請者世帯への周知に関して伺います。 ① 現在窓口申請受付件数は何件 ② 前回給付金進達件数が173件の実績があるが今回の給付金進達予定世帯は ③ 国の直轄事業の給付金で村に住んでいる1人でも多くの世帯に給付が行き届けばよいと考えるがどのような周知方法で案内するのか ④ 子ども課においてひとり親世帯の把握は出来ていないと担当より聞いたが、何とか住民課とタイアップしながらより多くの世帯に情報が発信できるような案内策を図れないか伺います。	村長
	3.GIGAスクール構想推進元年	ICT機器購入児童生徒一人一台の端末の活用、更にサポーターの配置とGIGAスクール構想は今後の学習環境を大きく変え授業の効率化、家庭学習での充実化に向けて推進されていくものと考えます。システム設定が4月で完了し5月よりタブレットが使用可能になるとお聞きました。前年9月一質にて確認した際にタブレット利用・管理に関して各家庭に持ち帰る事が出来ると聞いており、端末で検索する際のネット環境状況について調査アンケートを進めているとの事でした。 その結果の報告を伺います。 ① 環境が整っていない世帯数及び属する台数は ② 保護者の補助対応についての取りまとめ スクール構想に関連し構想の目的・端末管理・端末の取扱い等様々な状況が発生すると思われるがガイドラインの作成はどう取り組むのか伺います。	村長 教育長

令和3年6月16日(水)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
仲松正敏	1.農業振興について	日本の農業・農村は、高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの「人と農地の問題」があり、5年後、10年後の展望が描けない地域が増えていまして、中城村としましても、人と農地の問題については大きな課題として考えなければならないと思います。 ①人・農地プランについて 人・農地プランとは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」と言われているが、具体的な内容は。 ②新規就農について 「人と農地の問題」の解決に向けて、農業を始めたい方や新たに人を雇いたいと考えている皆さんを支援するものと考えます。 それで、自ら独立して農業を開始する方、青年就農給付金(経営開始型)の具体的な内容は。 ③農地集積 農地集積についてですが、これについてはある一定の区域の土地、いわば隣接する農地を借りて「人・農地プラン」に位置づけられた中心経営体への農地集積の制度事業だと考えます。 現在、本村での農地集積の現状を伺います。	村長
	2.高齢者スポーツ推進について	高齢化社会が進行しているが、高齢者が元気で生活するためには健康寿命を伸ばす必要があり、このためには健康な体を維持することが重要である。元気な高齢者を増やすためにはスポーツの推進が必要であると考えてるので、以下について伺う。 ①高齢者の健康を守るために本村においては現在どのような取り組みをされているか。 ②高齢者スポーツへの取り組みで、環境というものが足りないと常々村民からの声があるが、対策はあるのか。 ③これからの将来、高齢者の健康維持の為にスポーツ推進の計画は策定されているか。	村長

令和3年6月16日(水)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
渡嘉敷眞整	1,シルバー人材センターについて	①令和3年度から補助金が10%260,000円削減されていますがどのような意図によるものか。 17市町村シルバー人材センターの補助金はどのようになっていますか。比較検討されましたか。 ②シルバー人材センターは村にとってどのような必要性があるのか。 ③高齢者のシルバー人材を村行政に活かすには積極的・建設的にどのような支援施策を展開すれば良いと思いますか伺います。	村長
	2,各小中学校経営戦略の改革方針について	①3月定例議会で条例の一部改正がありました。 令和3年4月1日から施行されていると思います。 教育委員会として具体的にどのような政策形成手法の習得を図るとともに、従来の方針を転換して学校経営を実施していくのか伺います。 ②今日、マスコミ・新聞・テレビ報道等でヤングケアラーのことが取り上げられています。とても心の傷む大きな問題だと危惧しています。 本村の子ども達の状況は何人いるのか。又、把握するために調査し、どのような対応をしているのか伺います。 ③中学校移転に伴う不動産鑑定・物件調査・測量設計等委託料29,714千円、用地購入費620,000千円、物件補償費10,000千円＝計659,714千円 ・執行計画及び進捗状況はどのようになっているか。 ・計画通り進められるか。 ・今後の建物建築との繋がりはどうか。 ※小中学校改築整備基本計画書のことを伺う。	村長 教育長
	3,安全・安心な飲料水の供給を求める	①有機フッ素化合物(PFOS,PFOA)直近の数値はいくらですか。その数値をどのように捉えていますか。令和3年3月時点での含有量は7ng/lとのことでした。5月27日新聞で川崎川の支流で1L当たり3100ナノグラムを検出した。(県環境部今年2月の水質調査)、県企業局は2020年度北谷浄水場の水源などで有機フッ素化合物検出調査結果を5/27発表した。嘉手納基地内外を流れる沖縄市の大工廻川で最大604ナノグラムを検出した。 企業局は有機フッ素化合物の濃度低減に向け、北部のダムから送水量の増加を求めた北谷町に対し企業局は「国ダムに計画外の余剰水がない」「異常渇水への対策が必要」などの理由で恒常的な対応は困難との考えを示した。(水事情が良好な時期には国県、企業局管理ダムから送水量増やすなどの対応を取っている)とあります。 ②供給されている7市町村の首長の一致した意見として【取水先を変更する要求を連名で提出してもらいたい】そのための会議を計画し、意見を集約してほしいとこれまでの議会で要望が出されていますが進捗状況を伺います。 ③北谷浄水場の比謝川等からの取水割合はいくらですか。	村長

令和3年6月16日(水)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
屋良照枝	1,SDGsと中城村について	令和3年度の施政方針にも示されましたSDGs持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)2030年までに達成すべき17目標、1貧困根絶、2飢餓撲滅、3健康と福祉、4質の高い教育、5ジェンダー平等、6水と衛生、7クリーンエネルギー、8適切な雇用・経済成長、9産業・技術革新・社会基盤、10格差是正、11持続可能な都市・コミュニティ、12責任ある生産と消費、13気候変動の対応、14海洋資源の保全、15陸域生態系の保全、16平和・法の正義・有効な制度、17パートナーシップ。 中城村も周知徹底と取り組み課題を提言し、経済、社会、環境の諸課題を統合的に解決すべきだと思いますので村長の見解を伺いたいと思います。 ①SDGs17目標から「7クリーンエネルギー」より、吉の浦発電所の村への貢献度はどうとらえていますか伺います。 ②SDGs17目標から「11持続可能な都市・コミュニティ」より、新型コロナワクチン接種事業における村の取り組みが、比較的スムーズに進んでいるととらえますが、1番の要因は何ととらえていますか伺います。 ③SDGs17目標から「14海洋資源の保全」より、海の汚染、ごみ問題、ペットボトルの回収、魚の水揚げ量の低下等、中城ゴミ条例の取り組み。	村長
桃原清	1,交通安全対策	①以前に、中城村、伊集の村道と西原町の町道との境において、事故が多く、対策が必要とのことで宜野湾署、浦添署、中城村、西原町の4者にて、優先道路の変更等について、協議をしたことがあると思うが、もう対策は終わったのか。今後も何か、対策を行うのか伺います。 ②南上原沖銀前交差点の信号に右折信号の追加設置の要望について情報があるが、警察署に申請しているのか、どのような状況なのか伺います。	村長
	2,国道329号泊バス停の修繕	①国道329号泊バス停の修繕について、南部国道事務所に対し、直接要請をしたことがあります。その後、総務課長と南部国道で連携を取りながら南向けバス停の修繕が行われた事は確認しているが、北向けのバス停について、修繕予定はあるのか伺います。	村長
	3,ユーチューブ音楽配信の件	①インターネットの情報として、中城村への愛をラップ調で歌う楽曲「中城村、In The House」が「ごさまるの日」の5月30日に配信されるとあるが、その楽曲の製作について、中城村も関わっているのか、今後、タイアップ等に関わっていく事があるのか伺います。	村長

令和3年6月17日(木)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
新垣善功	1.村の事務委託者(自治会長)の資質向上について	中城村は21の末端行政組織(自治会)で構成されている。その各自治会には自治会長がいて、村の行政運営を円滑にするため村の事務を委託している。現状を見た時各自治会長の資質向上は、その地域(自治会)の活性化に大きくつながるものと思います。 各地域(自治会)が活性化することは村の活性化にもつながるものと確信しており村の事務委託者(自治会長)の資質向上は村の活性化にかかせないものと思います。そこで次のことについて説明を求めます。 ①これまで事務委託者(自治会長)に対する教育は実施して来たのか、実施したのであればその内容及び頻度は。 ②先進地視察研修の有無と頻度、研修先と内容。 ③事務委託者の教育責任者は誰か。	村長
	2.とよむ中城住みよい環境条例の村民等への周知は	令和3年の3月定例議会において、「とよむ中城住みよい環境づくり条例」を制定しましたが、村民、事業者への周知についてどのような方法で周知を行う考えか、又行っているか説明を求めます。	村長
	3.困窮世帯の実態調査について	コロナ禍の長期化で失業者が増え生活困窮世帯が増えているとのマスコミ報道があるが本村は実態調査を実施したことがあるか、説明を求めます。	村長
	4.村長のコロナワクチン余剰分接種について	5月15日の新聞報道によると、県内7市町村の首長が急なキャンセルで余ったワクチンを打ったとのことであるが厚生労働省からはワクチン接種優先順位として医療従事者、65歳以上の高齢者を対象にその後は慢性の心臓病など基礎疾患がある人、高齢者施設で働く人、60歳～64歳と続く様に示されているが本村の浜田村長も接種開始の初日に接種しているとのこととは事実か。事実であれば国が示した優先順位のどの枠内での接種をしたか、説明を求めます。	村長
新垣貞則	1.久場地区を災害に強いまちづくりを図る	①新垣氏住宅(1919番地)側の排水路は、降雨によって上流からの雨水で生活道路へ氾濫し区民の通行が困難となったが対策は。 ②賀武道線～宇地真原への未開発道路を接続して災害時(津波・火災等)に避難道路としての整備計画は。 ③吉の浦発電所施設で災害時を想定した三者(地元・役場・発電所)合同避難訓練や避難計画の策定について伺います。 ④吉の浦発電所入口排水路は、ヒューム管の土砂が取り海に流れ、排水路にヘドロがあちこちにあり環境悪化して	村長
	2.泊地区の施設整備	①久場地区農地保全1号線、泊側の未整備農道の下に建売墓地が地すべりで5基ほど壊れているが対策の説明をお願いします。 ②村道泊中央線のU字溝整備と関知ブロックの補修は。 ③2号水兼農道と村道泊中央線の下は、排水路がなく雨降りの時は水が集中して土砂が削り取られて危険な状態であるが対策は。 ④泊自治会長から村長宛に16名地主の嘆願書が出され、この件で村と県は協議をしています。協議内容の説明をお願いします。 ⑤泊十字路交差点クワディーサーから出る所は、吉の浦線向け信号機が設置されていない為に、右折等がしにくい。非常に危険だが対策は。	村長
	3.自治公民館に書記を配置して、とよむ中城を図る	①村内(子ども会・青年会・婦人会・老人クラブ)の現状と課題は。 ②防災訓練で人をつなぐ絆づくりをし、地域活性化を図る取り組みは。 ③中部地区「中城村・北中城村・西原町・北谷町・嘉手納町・読谷村」(6町村)の書記配置状況の説明をお願いします。	村長

令和3年6月17日(木)

質問者	質問事項	質問の内容	質問の相手
安里清市	1.新型コロナ対応について	①緊急事態宣言下で対応にあたる職員の勤務状況を伺います。適正な休息・休暇は確保されていますか。 ②職員の体調・健康維持に係る、現下の管理体制を伺います。 ③ワクチン接種にあたり、一部自治体で接種順番の不自然な割り当てが問題になりましたが、中城村での対応について伺います。	村長
	2.各字公民館への案内板の設置について	昨年の9月議会で提案しましたが、 ①その後の進捗状況を伺います。 ②設置の必要性などをアンケートで調査していますが、結果の概略を伺います。 ③今後は設置に向けて取り組んで欲しいと思いますが、如何でしょうか。	村長
	3.幼稚園の廃止に向けた取り組み状況	令和4年度を限りに、中城・津覇の両幼稚園を閉園する方針で現在認定こども園の設置に向けた取り組みが進んでいます。 ①閉園までの両幼稚園の維持管理計画はありますか。 ②中城幼稚園の園庭は木の根や大きな石が露出し、園児が遊ぶには危険な状態ですが、承知していますか。 ・第1教室のクーラーの修理は予算内で可能ですか。 ・雲梯棒の修理は・部分的な腐食のため現況はテープで立ち入り禁止処置がとられています。 ③津覇幼稚園で職員が不足している状況ですが、補充の目途について伺います。 ④両幼稚園の不審者侵入対策を伺います。 ⑤閉園に向けた職員への説明は十分か。職員の配置転換計画の概略を伺います。	教育長
	4.文化財の活用について	中城城跡では旧高原ホテルが撤去されたことにより、中城ハンタ道の整備が最終段階に入るものと思われます。 ①ハンタ道の今後の整備の主管はどこになりますか。中城村はどのように関わる事ができますか。 ②整備の工程表はできていますか。 ③ホテル跡地利用計画はありますか。その場合にPFI事業としての展開も検討されますか。	村長 教育長